



みんなのBOSAIプロジェクト

台風編
大雨
保存版

2022年度版

もしもしも の備え



あなたは、今、どこで、誰と暮らしていますか？
いつ、どこで起こるか分からない「もし、もしも」のなかで
台風だけはあらかじめ予測ができる災害です。
暮らしている地域でどんな被害が起こりうるか、いつ、何を用意し、
どんな行動をとるべきか、一緒に考えていきましょう。

みんなのBOSAIプロジェクト もしもしも

いつ、どこで、誰の身に起きるか分からない自然災害に対し
「もしものわたしの3日間を守る」「みんなでみんなを守る」
2つの想いを合言葉に未来に向けて考えるプロジェクトです。



今回のゲスト
コンシェルジュは

防災アナウンサー／
環境省アンバサダー
奥村 奈津美 さん
NHKなど様々なメディアに防災の専
門家として出演。著書「子どもの命
を守る！ 防災新常識～パパ、ママが
できる!! 水害地震への備え～」



あなたの 防災知識、アップデートしていますか？



温暖化の影響で
豪雨の頻度が
高まっている



ハザードマップや
防災情報は刻々と
更新されていく



避難のタイミングや
避難場所は
“家族構成”で違う



情報の受け取り方は進化しています！

日本付近で台風が発生したら

●キキクル(気象庁HP)

雨などによる災害発生危険度を5段階で色分けし、地図上に表したサイト。お住まいの地域の現況や危険度の高まりをリアルタイムで確認でき、避難の判断材料になります。

●自治体の防災情報メール、SNS

自治体が発信する防災情報を確認できます。メール、アプリ、SNSなど情報提供の方法は自治体によって異なりますが、事前に登録しておく、随時メールで情報を提供してくれる自治体もあります。

●NHK、企業が発信する防災情報やアプリ

普段から、防災情報を提供するアプリをダウンロードしておきましょう。住んでいる地域などを設定しておく、プッシュ通知で情報が届きます。雨の状況がリアルタイムでわかる雨雲レーダーのアプリや信頼できる情報を発信しているSNSをフォローするなど、常に最新の情報にアクセスできるようにしておきましょう。



ハザードマップの検索方法を
知っていますか？

防災アナウンサー奥村さんによる
解説動画を見ながら、
お住まいの地域を
チェック



もしもの備えも、“更新”が必要です
詳しく見ていきましょう！



FELISSIMO

あなたのおうちも危険かも。あなたは

外に避難？おうち避難？

避難とは難を避けること。どこに逃げれば、自分や家族を守ることができるでしょうか。避難をためらって行動が遅れると、とり返しがつかないことも。安全が確認できるまで命を守る行動を続けましょう。

◎住んでいる場所によって、必要な情報は違う！



◎ハザードマップで自宅のある場所をチェック



<https://disaportal.gsi.go.jp> (重ねるハザードマップ)

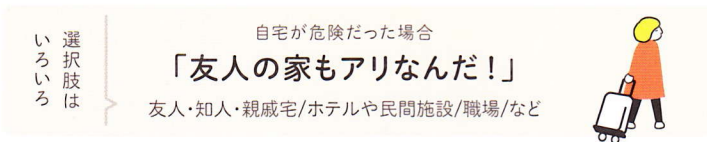
ハザードマップの被害想定はあくまで目安です。想定がされていない地域、想定以上の被害のある災害が起きることもあります。

出典：ハザードマップポータルサイト 当ホームページは予告なしに内容を変更又は削除もしくはURL(アドレス)の変更をする場合がありますので、あらかじめご了承下さい。



◎避難は「自宅/自宅以外」で考える

避難所だけが避難先ではありません。ハザードマップで自宅のリスクを確認したら、避難先を考えましょう。避難所だけでなく、安全な場所にある友人宅やホテルなども選択肢の一つです。また、自宅が安全な場所にある場合は、自宅にとどまる「おうち避難」も立派な避難です。



◎警戒レベルは「色」に注目しよう

あなたの避難のタイミングは？ 災害発生の危険度と、とるべき避難行動を5段階の数字で表したのが「警戒レベル」です。避難情報は、お住まいの市町村が発令します。地域のリスクや家族構成を踏まえて、どの警戒レベルになったら避難するのか考えておきましょう。

警戒レベル

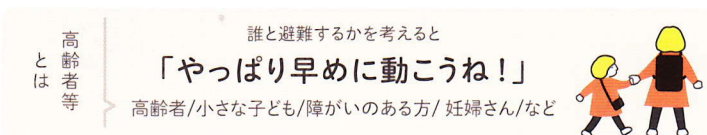
5	緊急安全確保	命の危険/直ちに安全確保!
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
2	洪水・大雨注意報	避難行動を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを高める

警戒レベル

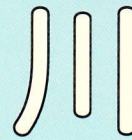
4

で必ず、
全員避難

⚠ 警戒レベル 5 での避難は、手遅れ……!



あなたはどんな



住んでいる街に
川が流れている

起こりうる災害：洪水

ハザードマップの色は？

あり なし

外 おうち以外の避難を考える

① 想定される浸水の深さは？

0.5m未満 0.5m～3m未満 3～5m未満 5m以上



② 避難先を考えよう

避難所・知人宅などハザードマップに色が付いていないエリア

避難先

連絡先

避難先

連絡先

家
おうち避難を考える
裏表紙へ

台風接近中・豪雨のおそれがあるときは、テレビなどで最新の災害情報をチェック

③ 避難のタイミング

警戒レベル

避難に時間がかかる
(高齢者や小さな子どもがいるなど)

3

この色で避難開始!

避難に時間がかからない

4

キキクルの洪水害ボタンで最寄りの川の状況を確認

⚠ 河川の様子を絶対に見に行かないこと!

紫：川が氾濫する恐れ



気象庁HP
洪水キキクル



キキクルホームページは予告なしに内容を変更又は削除もしくはURL(アドレス)の変更をする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●乳児や高齢者と

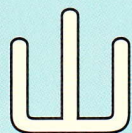
必需品や
持ち出し品の
準備について

持ち出し品

- 身に付けるもの メガネ・入れ歯・薬・オムツ・生理用品
- 移動に必要なもの ヘッドライト・レインウェア・着替え
- トイレ・衛生用品 携帯トイレ・トイレ用紙・ウェットティッシュ
- 食料 水、そのまま食べられるもの
- 感染症対策グッズ 消毒液・マスクなど
- 情報収集アイテム スマホの予備バッテリー・ラジオ

基本的に防災グッズや備蓄品は自宅に。避難先によって何を持

所に住んでいますか？ 自宅のある場所について確認しましょう！



山・がけ・沢や
傾斜地が近い

起こりうる災害：土砂災害

ハザードマップの色は？

あり なし

外 おうち以外の避難を考える

① 自宅の場所は当てはまりますか？

土砂災害
警戒区域



土砂災害
特別警戒区域



② 避難先を考えよう

避難所・知人宅などハザードマップに
色が付いていないエリア

避難先
連絡先

避難先
連絡先

家
おうち避難を考える
裏表紙へ

台風接近中・豪雨のおそれがあるときは **大雨警報(土砂災害)** **土砂災害警戒情報**
などをチェック

③ 避難のタイミング

すみやかに
安全な場所へ移動

警戒レベル
3

この色で避難開始！

警戒レベル **4** を待たない

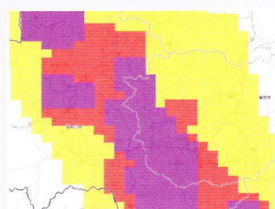
キキクルの土砂災害ボタン で危険度を確認

⚠ 土砂災害は雨がやんだ後など、いつ発生するかはわからない！

赤：必ず避難しよう



気象庁HP
土砂キキクル



■ 災害切迫
■ 危険
■ 警戒
■ 注意
○ 今後の情報等に
留意

下さい。 (掲載画像 洪水キキクル/土砂キキクル) 気象庁発行 キキクル から利用 (地理出典：地理院タイル (加工して利用))



海が近い
河口が近い

起こりうる災害：高潮

ハザードマップの色は？

あり なし

外 おうち以外の避難を考える

① 想定される浸水の深さは？

0.5m未満



0.5m～3m未満



3～5m未満



5m以上



② 避難先を考えよう

避難所・知人宅などハザードマップに
色が付いていないエリア

避難先
連絡先

避難先
連絡先

家
おうち避難を考える
裏表紙へ

高潮のおそれがあるときは **高潮警報に切り替える可能性が高い** **高潮注意報**
高潮警報または高潮特別警報
などをチェック

③ 避難のタイミング

暴風が吹き始める前に
避難を完了しておくこと

警戒レベル
3
4

この色で避難開始！

台風や低気圧などにより海面水位が上昇する高潮に注意

⚠ 海水が岸壁を越え、道路の冠水や浸水などが発生！



一緒に避難する場合は、安全な時間に早めに移動しましょう●

品など
タオルなど
トティッシュなど
ヤホン

おうち避難の備蓄品

- ・非常用トイレ(1週間分以上)
- ・水(1週間分以上 ひとり1日3ℓ×家族の人数分)
- ・カセットコンロ・ボンベ(1週間分)
- ・常温保存できる食料のストック
- ・照明(ヘッドライト・ランタン)
- ・電気の代替アイテム(予備バッテリー・ポータブル電源)
- ・日用品(トイレトペーパー・ウェットティッシュ・生理用品など)

※高齢者や乳児などは「2週間分」が推奨されています。



備蓄のお水や
食料品を

「避難させてもら
友人の家に
持って行こう！」



みんなのBOSAIプロジェクト

もしもしも きほんのきセット

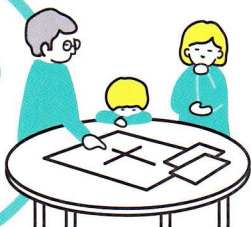
「もしも」のことが起こったとき、まず重
要なのは、ライフラインが復旧し、物資
が到着するまでの「3日間」を乗り切る
こと。できるだけ少なく軽量化した基
本の備えを毎月1セット×10回に渡ってお届けします。



注 ハザードマップに色があっても、一定の条件に当てはまる場合、おうち避難を考えることもできます。反対にハザードマップに色がなくても危険な場所もあります。各自自治体の情報をしっかりとることが必要です。

台風

予報が
出たら!



備えて安心! タイムスケジュール

家
Ver.

48
時間前!

暴風対策をしよう

□飛ばされやすいものは室内へ移動

・物干し竿
・サンダル
・植木鉢など

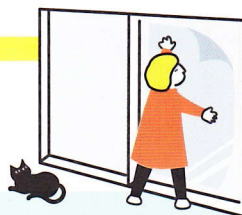


家に入らないものは

□倒してチェーン
□ワイヤーで固定
□防風ネット使用

! ガラス飛散を防ごう

窓を守ることは家全体を守ることにつながります。地震対策にもなるので、窓ガラスには飛散防止フィルムを貼っておきます。台風が近づくと、必要なものが売り切れることもあるので、普段から備えておきましょう。



浸水対策

□ガソリンを満タンにする
□車を安全な場所へ移動

台風前には
満車になることも。
早めの判断を!



! 確認しよう

□学校は休校になる?
□職場は出勤?
□電車などの計画運休は?

地震など他の災害への備えにもつながるので、台風のタイミングで、備蓄品の補充など、積極的に備えましょう。

24
時間前!

停電や断水対策をしよう

□野菜は洗って切っておく

□そのまま食べられる
ものを用意



□水をためる



□フル充電

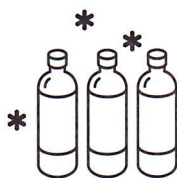


! 万が一に備えて

□垂直避難して就寝

* □熱中症への対策

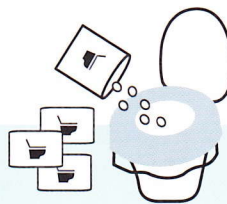
台風接近中は窓を開けられないので、熱中症対策を万全に。扱いやすい500mlのペットボトルを凍らせて保冷剤がわりにすれば水分補給もできて一石二鳥。



・飲みものを冷凍する
・氷をつくる

! 災害時の トイレ問題

非常用トイレはありますか? 断水だけでなく、水害が発生するとトイレが逆流するなどし、使えなくなる恐れがあります。十分な備えをし、いざという時あわてないために、使い方を確かめておくことも大切です。



浸水対策

□大切なものを上層階へ

・貴重品 ・思い出の品
・移動できる家電製品

□備蓄品も上層階へ

・カセットコンロ ・ボンベ
・食材 ・調理器具など

□水のうで下水の
逆流を防ぐ

二重にしたビニール袋に水を入れ、トイレの中や排水口に置くと逆流を抑える効果があります。



通過中!

□いつでも避難できる服装で
□心が落ち着くものを用意
□早めに食事をとる



おじいちゃん・おばあちゃんの命を守るために

防災アドバイス

家族へ
暮らす
離れて

離れて暮らす家族がいる場合は、電話などで早めの避難をうながして。日頃から近所の方と話し、避難の声かけや安否確認をお願いできる関係を築いておきましょう。



MOSHI
MOSHI



できる ワクワク、ずっと
ミニツク

一生モノの防災力を身につけよう!
「家族で学ぶ
防災プログラム」



ある日、架空のとある一家が地震に……。マンガ感覚でストーリーに沿って進むので、被災時にとるべきリアルな行動とワザがわかる、体験型おうちレッスン。



ともにしあわせになるしあわせ

FELISSIMO

TN-956-124-028



環境に配慮した印刷物です。
環境負荷を低減し、リサイクルに選んだ紙・印刷工程を採用しています。

7-1 SHINKOU-CHO CHUO-KU KOBE 650-0041 JAPAN TEL.0570-024-213